

地域創造学類カリキュラムマップ(健康スポーツコース専門科目)(平成24年度入学者用)

ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される諸問題に目を向け、それを分析できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会をつくるために、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに喜びと責任をもって参加できる人材を育成する。この人材育成目標に到達するために、学類共通科目の学習成果を上げ、かつ健康スポーツコースの学習成果を上げた者に対して、学士(地域創造学)の学位を授与する。
健康スポーツコースの学習成果	
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための専門的知識を修得している。
	理念目標・社会的責任 対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。=生涯スポーツライフ
	現状理解・把握 対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。=健康・運動・栄養・体力・発達、スポーツの文化と歴史
② 技能・表現	実践論・対処方法 対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。=ヘルスプロモーション、スポーツマネジメント
	調査・分析方法 地域課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
③ 思考・判断	伝達技能 他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力とコーディネーション能力を身につけている。
	④ 関心・意欲 地域や社会の諸問題を生活の諸側面から多角的に分析し考察できる。
⑤ 態度 地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。	
⑥ 態度 地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。	

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	必修の学類共通科目を履修した後、各コースで専門テーマを深く学べるように編成する。また、演習や論文指導でのきめ細かな少人数教育を基本に、調査実習、体験実習など現場での実習教育を重視する。 1年次には、共通教育科目と地域創造学類共通科目を通じて、将来の地域社会の維持と発展を担うための地域創造学の基礎を学ぶ。2年次には、講義と演習科目から各コースの基礎を学ぶ。3年次には、応用演習と実習により、コースの専門的知識と技術を修得し、4年次では、自ら課題を発見し解決するための卒業研究に取り組み、地域における調査とフィールドワークを通じて、地域が求める課題に実践的かつ総合的に取り組めるようになっていく。少人数教育によるきめ細かな学習支援により、現場での実践力を確実に修得できるようにカリキュラムが編成されている。
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。  
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	学年	前期	後期	学習成果							
							理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35300	健康づくり論	地域などでの健康問題を把握するために必要な健康についての考え方や、健康づくりを進めていく上で配慮しなければならない事柄について考察できるようにする。	健康観、健康づくり	2	2		○	○				○	○	
35301	健康体力論	健康・体力の基本的概念、健康・体力と運動やトレーニングとの関係について理解する。	健康、体力	2	2			◎	○	○		○		
35302	スポーツと身体システム論	スポーツという身体活動に対して、身体構造や機能がどのように関わっているのかについての基本的な事実を学習する。	スポーツ、健康、生理学、身体機能、筋生理、呼吸生理、循環生理、代謝	2	2			◎	◎	○		◎		
35303	健康と食品機能	健康に関連する栄養素および食品成分についての基礎知識の修得を目的とし、食品の一次機能(栄養素)、二次機能(おいしさ)、三次機能(身体調節機能)について理解する。	健康、食品、機能	2	2			◎	◎	○		○		
35304	生涯スポーツ論	生涯スポーツ社会の実現に向けた我が国のスポーツ政策を理解する。生涯スポーツ社会の実現について、住民生活と政策の両面から理解し、多面的に考察できる。	スポーツライフ、生涯スポーツ社会、スポーツ政策、スポーツクラブ	2	2		◎	○	◎			○	○	
35305	スポーツ指導論	スポーツ指導の基礎的な理論の理解と実際の指導法について学び、グループでスポーツ指導ができる。	スポーツ指導	2	2				◎			○	○	
35306	健康教育学	健康に対する認識を広めたり深めたりすることができ、さらに健康教育を進める上で目標設定やプログラム開発、及び健康教育の実施・評価について一定の見通しを持つことができるようになる。	健康教育	2		2			◎			○	○	○
35307	健康スポーツデータ解析	卒論作成に不可欠なスポーツ統計の基礎を理解し、正しい統計の使い方を学習する。	統計、エクセル	2		2			○	◎		○		
35308	スポーツ生理学(運動生理学を含む)	身体の構造や機能に関する生理学的な基礎知識を学び、さらに発育・加齢、運動などが身体の生理機能の変化や適応変化に及ぼす影響などについて学習する。	生理学、運動生理学、筋生理、呼吸生理、循環生理、代謝	2		2		◎	◎	○		◎		
35309	健康栄養学	糖質、脂質、タンパク質、無機質、ビタミンの栄養的意義、および糖質、脂質、タンパク質、エネルギーの代謝、スポーツやダイエット時の栄養等について修得し、基礎的な栄養管理ができるようになる。	健康、栄養	2		2		◎	◎	○		○		
35310	スポーツ社会学	スポーツと人間や社会の関係を理解する専門的知識を習得している。スポーツを社会的・文化的側面から理解し、多面的に考察できる。	スポーツ社会学、スポーツ文化、スポーツ観、スポーツ規範、スポーツ集団	2		2		○	◎			○	○	
35311	スポーツ経営学	体育・スポーツ経営学の基礎理論及び現代的課題を理解した上で、地域に根ざした運営上の課題について考察できる。	体育経営学、スポーツ経営学	2		2			◎			○	○	○
35312	スポーツ心理学	心理学の基礎知識の学習を通して、心理的側面(知覚・認知、感情・情動など)の特性と、身体、運動行動との関係性について理解を深める。	知覚・認知、感情・情動、運動制御、運動学習、意識・無意識、プレッシャー、ストレス、あがり、メンタルトレーニング、動機づけ	3	2			◎	◎	○		◎		
35313	体力トレーニング論	身体の構造を学ぶとともに、トレーニングプログラムを作成・実施できるようにする。	体力科学、トレーニング法	3		2		◎	○	◎		○		

地域創造学類カリキュラムマップ(健康スポーツコース専門科目)(平成24年度入学者用)

ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される諸問題に目を向け、それを分析できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会をつくるために、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに喜びと責任をもって参加できる人材を育成する。この人材育成目標に到達するために、学類共通科目の学習成果を上げ、かつ健康スポーツコースの学習成果を上げた者に対して、学士(地域創造学)の学位を授与する。	
健康スポーツコースの学習成果		
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための専門的知識を修得している。	
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。= <b>生涯スポーツライフ</b>
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。= <b>健康・運動・栄養・体力・発達、スポーツの文化と歴史</b>
	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。= <b>ヘルスプロモーション、スポーツマネジメント</b>
② 技能・表現	調査・分析方法	地域課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力とコーディネーション能力を身につけている。
③ 思考・判断	地域や社会の諸問題を生活の諸側面から多角的に分析し考察できる。	
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。	
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。	

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	必修の学類共通科目を履修した後、各コースで専門テーマを深く学べるように編成する。また、演習や論文指導でのきめ細かな少人数教育を基本に、調査実習、体験実習など現場での実習教育を重視する。 1年次には、共通教育科目と地域創造学類共通科目を通じて、将来の地域社会の維持と発展を担うための地域創造学の基礎を学ぶ。2年次には、講義と演習科目から各コースの基礎を学ぶ。3年次には、応用演習と実習により、コースの専門的知識と技術を修得し、4年次では、自ら課題を発見し解決するための卒業研究に取り組み、地域における調査とフィールドワークを通じて、地域が求める課題に実践的かつ総合的に取り組めるようになっている。少人数教育によるきめ細かな学習支援により、現場での実践力を確実に修得できるようにカリキュラムが編成されている。
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。  
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	学年	前期	後期	学習成果							
							理念目標・社会的責任	知識・理解 現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	技能・表現 伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35314	運動処方論	運動の効果を最大限に引き出し、且つ危険性を最小限とする処方論の基礎知識を習得し、クライアントのアドヒアランスを高めることに念頭においたテーラーメイドプロトコルを作成するスキルを習得する。	運動処方、一次予防、アスレチックリハビリ、競技スポーツパフォーマンス向上	3		2	○	○	◎	○	◎			
35315	運動学概論(運動方法学を含む)	運動や身体パフォーマンスがどのように発生しているのかについて理解を深める。	運動の動作、運動の構造	2		2	○	○			○	○		
35316	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む)	学校保健についての基礎的な理解とともに、子どもや教職員の健康を守り、育て、教えるための目標設定や内容の検討、実施計画・評価について一定の見通しが持てるようになることを目指す。	学校保健、学校安全、救急処置	3	2		○	○	○			○		
35317	衛生学及び公衆衛生学	環境因子や先天的因子などが複雑に絡む疾病発現に関する基礎知識を理解し、社会環境における課題と健康管理対策に含まれている健康維持・増進対策について学習する。	衛生学、公衆衛生学、保健、健康、環境	3	2		○	◎			○	○		
35318	ヘルス・エクササイズ	健康づくりを目標に考案された新スポーツや水中運動の特性、実施方法、対象・年齢に応じた理論と実践を行う。また、栄養実習も行う。	スポーツ、健康づくり、健康増進、スポーツ指導者	3	1		○	◎				○		
35319	スポーツ・ゲームズ	世界の民族スポーツ等の体験を通して、スポーツのゲーム性について理解する。 ゲーム特性を活かした新しいスポーツゲームを創作することができる。	スポーツ、ゲーム、民族ゲーム、創作ゲーム、ニュースポーツ	3		1			○		◎	○	○	
35320	健康スポーツインターンシップ	健康やスポーツに関連、運営または支援する民間企業、NPO法人、NPO、行政機関、等における研修や指導、運営などの実習体験を行い、生涯スポーツの必要性を理解し、施設運営、指導法、企業経営など実態を理解する。	インターンシップ、スポーツ、健康、企業、実習、運営、指導	3	2(集中)		○	◎			○	○	○	
35321	健康スポーツ演習	健康・スポーツ科学の領域における論文作成のために必要な研究法と統計処理を学び、論文・レポート作成のための基本を習得する。また、健康やスポーツが社会にもたらす影響について理解し、情報を正確に評価できるようになるための測定と評価の技法等の基礎を習得する。	健康、スポーツ、演習、基礎技術、基礎技能	2		4		◎	◎	○		○		
35322	健康教育学演習	健康教育学分野における問題設定の方法、研究方法、調査手続き、調査法、分析視点、分析方法、報告の仕方などについて学習する。	健康教育、計画、実施、評価	3		4					◎	○	○	○
35323	健康体力学演習	健康・体力に関する実験・調査法、およびデータ処理を学習する。	実験、調査、データ処理	3		4		◎	○	○		○		
35324	スポーツ生理学演習	身体の構造や機能に関する生理学的基礎知識を基にしながら、さらに運動や発育・加齢などが身体の生理機能の変化や適応変化に及ぼす影響などについての理解を深める。	生理学、運動生理学、筋生理、呼吸生理、循環生理、代謝	3		4			◎	◎		◎	○	
35325	健康栄養学演習	健康栄養学分野で卒業研究を行うための基礎を得る。	健康、栄養、食品、演習、研究	3		4			◎	◎		◎	○	

地域創造学類カリキュラムマップ(健康スポーツコース専門科目)(平成24年度入学者用)

ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される諸問題に目を向け、それを分析できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会をつくるために、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに喜びと責任をもって参加できる人材を育成する。この人材育成目標に到達するために、学類共通科目の学習成果を上げ、かつ健康スポーツコースの学習成果を上げた者に対して、学士(地域創造学)の学位を授与する。	
健康スポーツコースの学習成果		
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための専門的知識を修得している。	
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。=生涯スポーツライフ
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。=健康・運動・栄養・体力・発達、スポーツの文化と歴史
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。=ヘルスプロモーション、スポーツマネジメント
	調査・分析方法	地域課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
③ 思考・判断	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力とコーディネーション能力を身につけている。
	思考・判断	地域や社会の諸問題を生活の諸側面から多角的に分析し考察できる。
④ 関心・意欲	地域や社会の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。	
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。	

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	必修の学類共通科目を履修した後、各コースで専門テーマを深く学べるように編成する。また、演習や論文指導でのきめ細かな少人数教育を基本に、調査実習、体験実習など現場での実習教育を重視する。 1年次には、共通教育科目と地域創造学類共通科目を通じて、将来の地域社会の維持と発展を担うための地域創造学の基礎を学ぶ。2年次には、講義と演習科目から各コースの基礎を学ぶ。3年次には、応用演習と実習により、コースの専門的知識と技術を修得し、4年次では、自ら課題を発見し解決するための卒業研究に取り組み、地域における調査とフィールドワークを通じて、地域が求める課題に実践的かつ総合的に取り組めるようになっている。少人数教育によるきめ細かな学習支援により、現場での実践力を確実に修得できるようにカリキュラムが編成されている。
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。  
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	学年	前期	後期	学習成果							
							理念目標・社会的責任	知識・理解 現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	技能・表現 伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35326	スポーツ社会学実習	スポーツの社会的アプローチについて理解する。地域スポーツの目標、現状、実践について理解する。	スポーツ社会学のアプローチ、地域スポーツ実践、地域スポーツクラブ、スポーツ政策	3		4	○	○	◎			○		
35327	スポーツ経営学実習	スポーツ経営に関連する研究方法(質問紙調査、文献調査、インタビュー法、参与観察法)について理解し、データ処理について学習する。	スポーツ経営学、経営分析	3		4			◎	◎		○	○	
35328	健康教育実習	この授業を受講した学生は、対象集団に対する健康教育の目標設定、計画、実施、評価の一連の取り組みについての理解を深めることができる。	健康教育	3		4		○		◎	○	○		
35329	健康体力学実習	健康・体力に関する実験及び調査を実践し、データ処理し、図表に整理する事を学習する。	実験、調査	3		4		◎	○	◎	○	○		
35330	スポーツ生理学実習	身体の構造や機能に関する知識を基にしながら、運動時の生体反応や生体適応を機能評価する手法について様々な実習を行い、それぞれの手法について、その原理と処理の実際について学習する。	実験手法、運動生理学、生理学、生化学	3		4			◎	◎		○		
35331	健康栄養学実習	食品中の各栄養素及び成分の定量に関する実験、定性に関する実験、および食品の機能性評価に関する実験を行い、実験方法を習得するとともに、実験的なアプローチ法、理論と実験方法の関係、実験結果の読み取り方を理解する。	健康、栄養、食品、実習、実験	3		4			◎	◎	◎			○
35332	スポーツ社会学実習	スポーツの社会調査で用いる調査技術と調査手続きを習得する。スポーツの社会調査、分析、報告書作成をすることができる。	スポーツ社会学、社会調査、フィールドワーク、観察調査、インタビュー調査、質問紙調査	3		4			○	◎	○	○		○
35333	スポーツ経営学実習	人々の運動・スポーツへの関わり方の特徴を理解し、スポーツ施設への視察・体験を通して、商品開発のプロセスについて学習する。	スポーツ施設、スポーツ経営学	3		4			◎	◎	○	○		○
35400	卒業演習	各自の関心・テーマを探究し卒業論文を執筆するための研究・実験・調査等を行うとともに、論文執筆の技法を身につける。	卒業論文、論文執筆の技法	4		4	◎			◎	◎		◎	
35401	卒業研究	各自の関心・テーマを探究し大学での学習の集大成となる卒業論文を執筆する。	卒業論文	4		6		◎	◎		◎		◎	◎